



## 各種学力調査の結果から

令和5年度の全国学力・学習状況調査、長崎県学力調査、佐世保市学力調査について、本校児童の結果と今後の対策についてお知らせします。

〔学力調査と対象学年及び教科〕（令和5年4月18日実施）

- ①全国学力・学習状況調査（6年：国語・算数・質問紙調査）
- ②長崎県学力調査（5年：国語・算数、6年：理科）
- ③佐世保市学力調査（4年：国語・算数）

結果は以下のとおりです。

- 6年生は、国語・算数・理科ともに、正答率が全国平均・県平均を大きく上回っています。
- 5年生は、国語・算数ともに、正答率が県平均を大きく上回っています。
- 4年生は、国語・算数ともに、正答率が全国平均・市平均を大きく上回っています。

正答率を見ると、どの学年もとてもよい結果が見られました。子どもたちが日々の授業や家庭学習に真剣に取り組んでいる成果だと考えます。ただ問題を設問ごとに細かく見ていくと課題も見られました。以下はその課題と改善策です。

- 国語では、「登場人物の気持ちの変化について、具体的に想像する」問題や、「相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら話す」問題において、正答率が全国平均・県平均をやや下回りました。

〔改善策として〕

- ・「読むこと」の学習において、登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わり結び付けて考えさせる問いを行ったり、なぜそう思ったのかを子どもたちに問い直したりすることで、根拠をもとに文章や語句を読み取ったり、考えたりする力を育みます。
- ・「話すこと・聞くこと」や「書くこと」の学習において、目的意識や相手意識をもたせるとともに、条件に合わせて理由や事例などを挙げたり整理したりする活動を仕組むことで、自分の考えを相手にわかりやすく伝える力を育みます。

- 算数では、「目的に応じて収集したデータから、特徴を読み取る」問題において、県平均を下回りました。

〔改善策として〕

- ・日常生活の様々な事象に目を向けるとともに、目的に応じてデータを収集したり、表やグラフに分類整理したりして、結果を適切に表現する力や、データの特徴を読み取る力を育みます。

学力調査は、学習した内容が子どもたちにどの程度身に付いているか見ることができる指標です。調査結果を今後の指導に生かすため、課題を全職員で共有するとともに、改善に向けた指導を各学年の発達段階に応じて行うことで、子どもたち一人一人の力を伸ばしていきます。

ご家庭でも、「家庭学習の手引き」をご活用いただき、家庭学習の充実と習慣化に向けて、子どもたちへの励ましのお声掛けやご指導をいただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。